

I. 調査の概要

1. 調査の背景

この調査は、市民生活及び市政に関する市民の意見や要望を把握し、戸田市のより良いまちづくりを推進していくための基礎資料とすることを目的に、昭和 50 年より 4 年ごとに実施しています。今回の調査で第 11 回目となり、調査開始から 40 年が経過しようとしています。これまで、定点調査として継続的に調査を実施することにより、市民意識の経年変化を捉え、その時代に合った市政運営に活かしてきました。

厳しさを増す財政状況や変化の激しい社会情勢の中で、より一層多様化する市民ニーズを適確に把握し、効率的かつ効果的な市政運営を展開するため、基礎調査としての本調査の位置づけはより重要なものとなっていきます。

これまで、調査全般を外部委託により実施してきましたが、今回の調査は、調査票の設問設計からデータ入力、分析まで、一貫して市職員が行いました。このことは、アンケート調査のノウハウを市に蓄積するだけでなく、中長期的な事業展開においてアンケート調査をより効果的に活用していくスタートにもなりました。

調査の実施に当たっては、政策研究所の政策支援機能を活用して、法政大学大学院政策創造研究科岡本研究室にアドバイザーを依頼し、データ入力や分析方法など、専門的なアドバイスを得ながら進めました。

「戸田市市民意識調査 平成 26 年度実施（第 11 回）」アドバイザーより

昨今、ビッグデータの活用は国や地方自治体にとって重要な課題の一つである。こうした流れの中で、戸田市はいち早くデータ分析のノウハウを市職員内部に蓄積していく方針をとった。それが、今回の市民意識調査の職員による内製である。多くのアンケートを実施してきた戸田市であるが、これまではほとんど外部委託してきた（多くの自治体でも専門家への外部委託が一般的である）。

しかしながら、地域をよく知る職員自らがデータを扱うことは、委託費の削減というメリット以外に、大きな資産を作ることとなる。分析の切り口を試行錯誤する過程で、これまで見えてこなかった市民ニーズの把握や事業展開を考え、より効率的でニーズに合った市政運営が可能になるからだ。

本年度の調査は、こうした先鋭的な取り組みの第一歩である。アドバイスにあたり、専門家の目線で分析手法を指示することは容易い。しかし、それでは職員のノウハウ蓄積にならない。そのため、時間がかかるものの全ての工程において職員にまずは考えてもらい、矛盾を指摘し、また解決策を考えてもらうということを繰り返した。当初、統計知識が乏しく、作業に苦戦していた職員たちも、最終期には驚くほどの分析力と思考力を身につけていた。

本調査報告では、こうした背景から統計的にいくつか修正しがたい点が残ったことは否めない。特に、40 年近く蓄積してきた経年データについては修正が必要な点も多々あったが、これまでの調査方法を重視することとし、今後の調査課題として浮き彫りするに留めた。今後は、この 1 年間で明確になった調査課題を改善し、より多くの職員との情報共有に向けて動き出していくことを期待する。

最後に、予想以上に時間がかかりつつも、温かい支援の目で現場にらせていただいた市長はじめ上席者の方々の懐の広さに感謝の意を、また多大な熱意と努力で根気よく取り組んだ職員に、賞賛と拍手を送る。

法政大学大学院政策創造研究科 岡本義行研究室／研究員 中島由紀

2. 調査設計

- (1) 調査地域：戸田市全域
- (2) 調査対象：平成 26 年 4 月 1 日現在、市内に在住する満 16 歳以上の市民
- (3) 標本数：3,000 人
- (4) 抽出方法：無作為抽出
- (5) 調査方法：郵送による配布・回収
- (6) 調査期間：平成 26 年 5 月 26 日～6 月 16 日（返送期日）

3. 回収状況

- (1) 有効標本数：3,000 人
- (2) 有効回答数：1,317 人
- (3) 回収率：43.9%

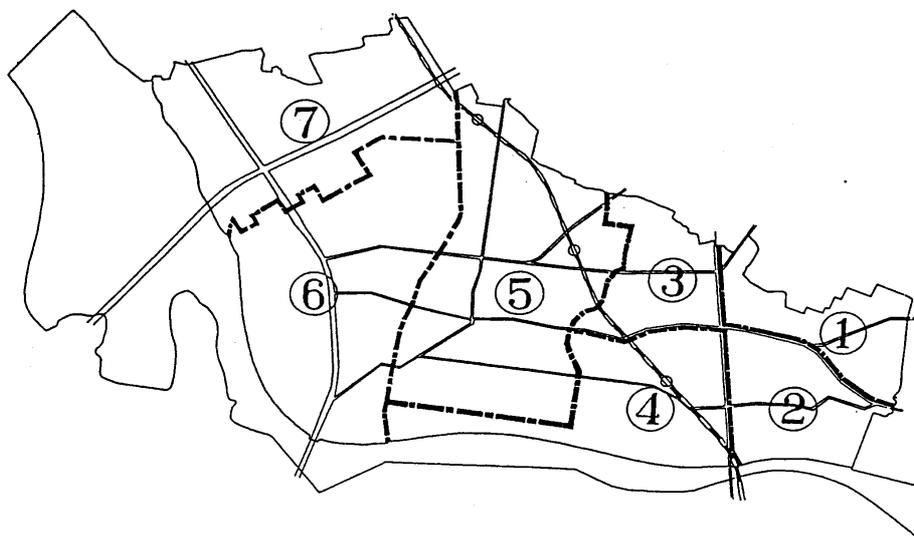
4. 調査の内容

- ①フェースシート（標本属性）
- ②定住意向
- ③健康づくり
- ④子育て
- ⑤高齢化
- ⑥生活環境
- ⑦地域コミュニティ
- ⑧市政への参加
- ⑨防災
- ⑩公共施設
- ⑪戸田市の取り組み

5. 地区区分

市内を次の 7 つの地区に区分して調査、集計、分析を行いました。

1. 下戸田 1 地区（喜沢 1・2 丁目、中町 1 丁目、下戸田 1・2 丁目）
2. 下戸田 2 地区（喜沢南 1・2 丁目、中町 2 丁目、下前 1・2 丁目、川岸 1・2 丁目）
3. 上戸田 1 地区（上戸田 1～5 丁目、大字上戸田）
4. 上戸田 2 地区（川岸 3 丁目、本町 1～5 丁目、南町、戸田公園）
5. 新曽地区（大字新曽、新曽南 1～4 丁目、氷川町 1～3 丁目、大字下笹目）
6. 笹目地区（笹目南町、笹目北町、早瀬 1・2 丁目、笹目 1～8 丁目）
7. 美女木地区（美女木 1～8 丁目、美女木東 1・2 丁目、大字美女木）



6. 集計・分析に当たって

- ・図表中の (n=* (*は自然数)) と年度や属性の後の () 内は、集計母数を表しています。
- ・原則として、図表の単位は%としています。
- ・回答割合 (%) は、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しています。そのため、属性ごとの回答割合の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・回答割合 (%) は、その設問の回答者数を母数として算出しています。そのため、複数回答の場合、選択肢ごとの回答割合を合計すると 100.0%を超えることがあります。
- ・過去の調査と選択肢等が異なる設問の経年比較については、類似の選択肢を用いている場合があります。

7. 標本誤差

この調査は無作為抽出法により行ったものであるため、標本抽出にともなう標本誤差を数学的に計算することが可能です。以下に、信頼水準 95% の場合の誤差算出式と早見表を掲載します。

$$\text{標本誤差} = 1.96 \sqrt{(N-n) / (N-1) \times P(1-P) / n}$$

N = 母集団の数 (戸田市の 16 歳以上人口 109,176 人、平成 26 年 4 月 1 日現在の住民基本台帳人口)

n = 各設問の回答数 P = 各回答の回答比率

回答比率 (%) 回答数 (人)	10 (または 90)	20 (または 80)	30 (または 70)	40 (または 60)	50
1,317	±1.61	±2.15	±2.46	±2.63	±2.68
1,000	±1.85	±2.47	±2.83	±3.02	±3.08
900	±1.95	±2.60	±2.98	±3.19	±3.25
800	±2.07	±2.76	±3.16	±3.38	±3.45
700	±2.22	±2.95	±3.38	±3.62	±3.69
600	±2.39	±3.19	±3.66	±3.91	±3.99
500	±2.62	±3.50	±4.01	±4.28	±4.37
400	±2.93	±3.91	±4.48	±4.79	±4.89
300	±3.39	±4.52	±5.18	±5.54	±5.65
200	±4.15	±5.54	±6.35	±6.78	±6.92
100	±5.88	±7.84	±8.98	±9.60	±9.80

〈この表の見方〉

- ・例えば、問 17 で戸田市に住んでいる理由について、「ここで育ったから」と回答したのが 20.3% (n=1,317) の場合、上表で値の近い「20 (または 80)」の欄の「1,317」の行をみると、標本誤差は±2.15%となります。したがって、本市の 16 歳以上の全市民に同じ質問をした場合、標本誤差を考慮すると、20.3%±2.15%の人が「ここで育ったから」と回答する確率 (信頼水準) が 95%である、と見ることができます。

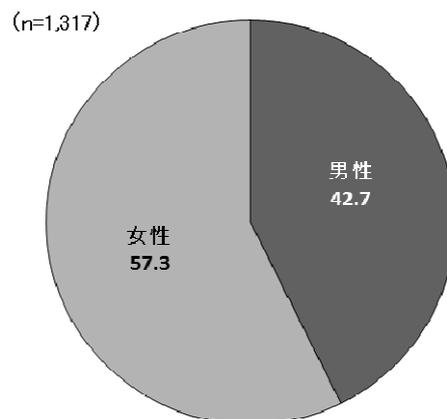
8. 回答者の属性

(1) 性別

回答者 1,317 人のうち、男性は 42.7%、女性は 57.3%でした。

調査対象母集団（平成 26 年 4 月 1 日現在の 16 歳以上人口）の性別構成比は、男性 51.5%、女性 48.5%です。よって、女性の回答割合が高くなっています。

図表 1 性別(全体)

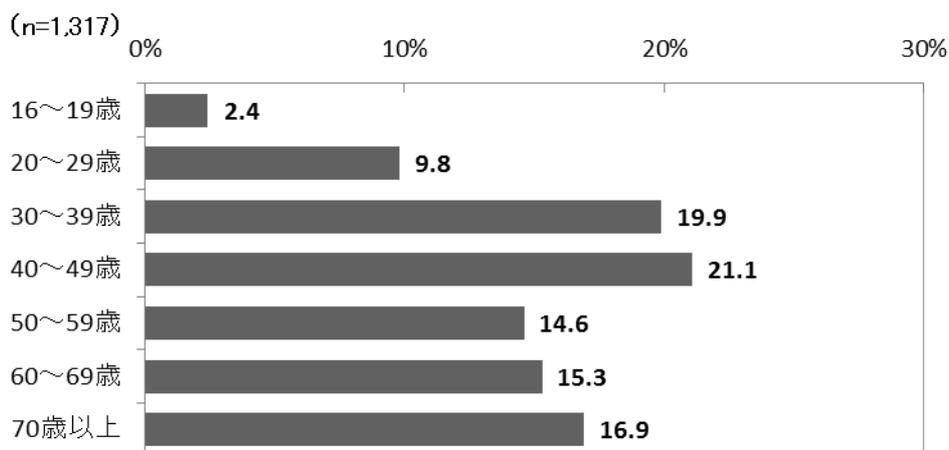


(2) 年齢

回答者の年齢構成は、40 歳代の割合が最も高く 21.1%で、次いで 30 歳代が 19.9%、70 歳以上 16.9%、60 歳代 15.3%となっています。

調査対象母集団の年齢別構成比は、16～19 歳 4.8%、20 歳代 15.7%、30 歳代 20.9%、40 歳代 21.6%、50 歳代 13.0%、60 歳代 11.5%、70 歳以上 12.5%となっています。よって、30 歳未満の回答割合が少なく、50 歳以上の回答割合が多くなっています。

図表 2 年齢(全体)



(3) 居住地区

居住地区は、新曽地区の割合が 21.2%と最も多く、美女木地区の割合が 9.2%と最も少なくなっています。前回調査と比較して、大きな相違はありません。

調査基準となった平成 26 年 4 月 1 日現在の町丁目別人口構成比は、下戸田 1 地区 12.9%、下戸田 2 地区 17.1%、上戸田 1 地区 10.0%、上戸田 2 地区 13.6%、新曽地区 21.7%、笹目地区 14.8%、美女木地区 9.9%となっています。

また、居住地区別でみると、下戸田 1 地区、笹目地区及び美女木地区において 60 歳以上の割合が他地区に比べて高くなっています。

図表 3 居住地区(全体)

地区区分	構成比(%)		
	平成 26年度 (1,317)	平成 22年度 (1,202)	平成 18年度 (1,375)
1. 下戸田1地区 (喜沢1・2丁目、中町1丁目、下戸田1・2丁目)	12.5	13.9	14.8
2. 下戸田2地区 (喜沢南1・2丁目、中町2丁目、下前1・2丁目、川岸1・2丁目)	19.1	16.9	17.2
3. 上戸田1地区 (上戸田1～5丁目、大字上戸田)	10.8	10.6	9.2
4. 上戸田2地区 (川岸3丁目、本町1～5丁目、南町、戸田公園)	14.8	13.7	14.2
5. 新曽地区 (大字新曽、新曽南1～4丁目、氷川町1～3丁目、大字下笹目)	21.2	21.7	19.5
6. 笹目地区 (笹目南町、笹目北町、早瀬1・2丁目、笹目1～8丁目)	12.5	14.7	14.6
7. 美女木地区 (美女木1～8丁目、美女木東1・2丁目、大字美女木)	9.2	8.4	9.9

図表 4 居住地区別年齢構成

		1 6 5 1 9 歳	2 0 5 2 9 歳	3 0 5 3 9 歳	4 0 5 4 9 歳	5 0 5 5 9 歳	6 0 5 6 9 歳	7 0 歳 以 上
全体(1,317)		2.4	9.8	19.9	21.1	14.6	15.3	16.9
居住地区別	下戸田1地区(165)	1.8	12.1	12.1	16.4	16.4	19.4	21.8
	下戸田2地区(251)	2.8	7.6	21.5	22.7	13.9	17.1	14.3
	上戸田1地区(142)	1.4	9.9	23.2	20.4	15.5	12.0	17.6
	上戸田2地区(195)	3.1	10.3	18.5	25.1	14.9	13.8	14.4
	新曽地区(279)	3.2	12.2	23.3	22.2	14.7	10.4	14.0
	笹目地区(164)	0.6	7.9	17.7	18.9	13.4	19.5	22.0
	美女木地区(121)	3.3	7.4	20.7	19.0	13.2	18.2	18.2

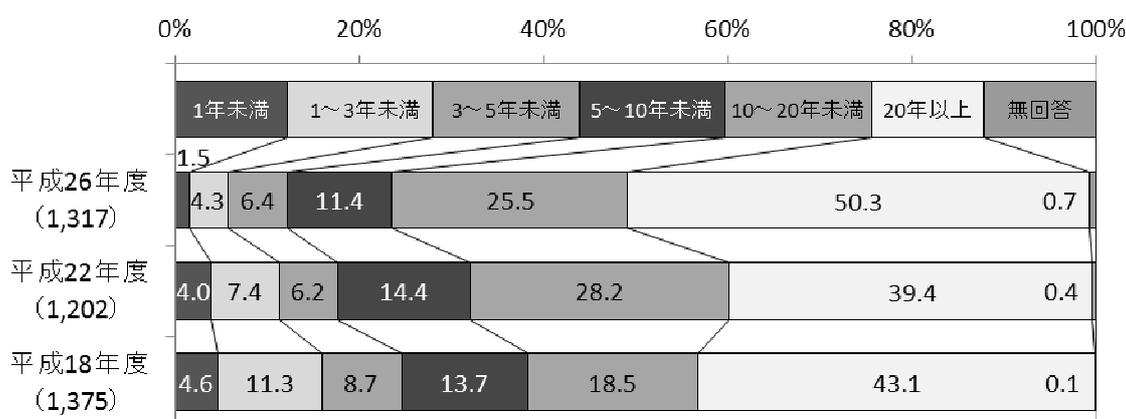
(4) 居住期間

居住期間は、「20年以上」が50.3%、次いで「10年以上20年未満」が25.5%となっています。

これまでの推移をみると、「20年以上」が平成22年度調査を10.9ポイント上回りました。一方「1年未満」が2.5ポイント、「1～3年未満」が3.1ポイント、それぞれ下回りました。

居住地区別にみると、下戸田1地区と笹目地区で、居住期間「20年以上」が60%を超えており、他の地区に比べ高くなっています。また、新曽地区は、「5年以上10年未満」が16.5%と他の地区に比べて高くなっています。

図表 5 居住期間(全体)



図表 6 居住期間(居住地区別)

		1年未満	1年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上20年未満	20年以上	無回答
全体(1,317)		1.5	4.3	6.4	11.4	25.5	50.3	0.7
居住地区別	下戸田1地区(165)	0.0	2.4	4.2	9.7	20.6	62.4	0.6
	下戸田2地区(251)	0.4	5.2	6.4	9.6	31.9	46.2	0.4
	上戸田1地区(142)	2.8	3.5	9.2	9.9	23.2	51.4	0.0
	上戸田2地区(195)	1.5	8.2	5.6	8.7	28.7	46.7	0.5
	新曽地区(279)	2.5	3.2	9.3	16.5	28.7	38.0	1.8
	笹目地区(164)	1.2	2.4	3.0	12.2	17.1	63.4	0.6
	美女木地区(121)	2.5	4.1	5.0	10.7	20.7	57.0	0.0

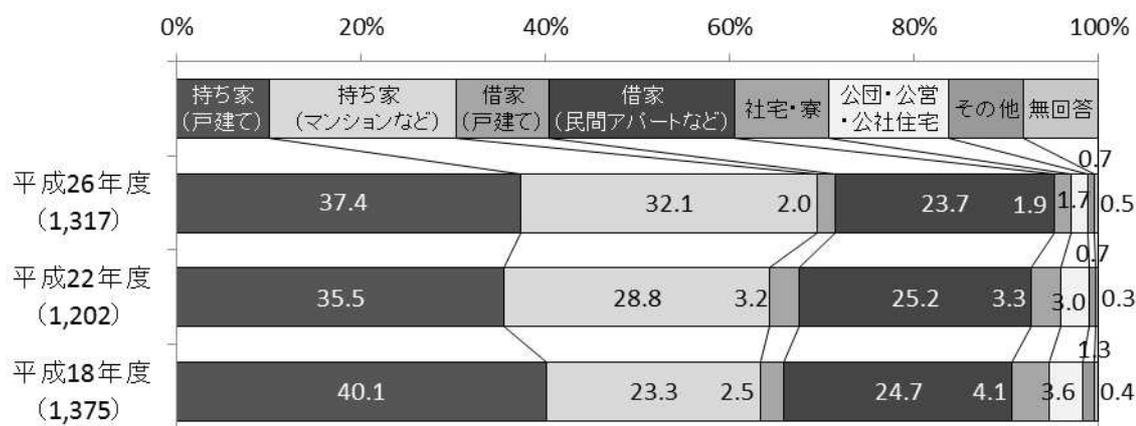
(5) 住宅の種類

住宅の種類については、「持ち家（戸建て）」が37.4%、「持ち家（マンションなど）」が32.1%となっており、これらを合わせた持ち家比率が69.5%となっています。

これまでの推移をみると、持ち家比率が平成22年度から5.2ポイント高くなっています。

持ち家に着目し、居住地区別にみると、下戸田1地区、笹目地区及び美女木地区は「持ち家（戸建て）」が「持ち家（マンションなど）」よりも多く、下戸田2地区及び上戸田2地区では「持ち家（マンションなど）」が多くなっています。

図表 7 住宅の種類(全体)



図表 8 住宅の種類(居住地区別)

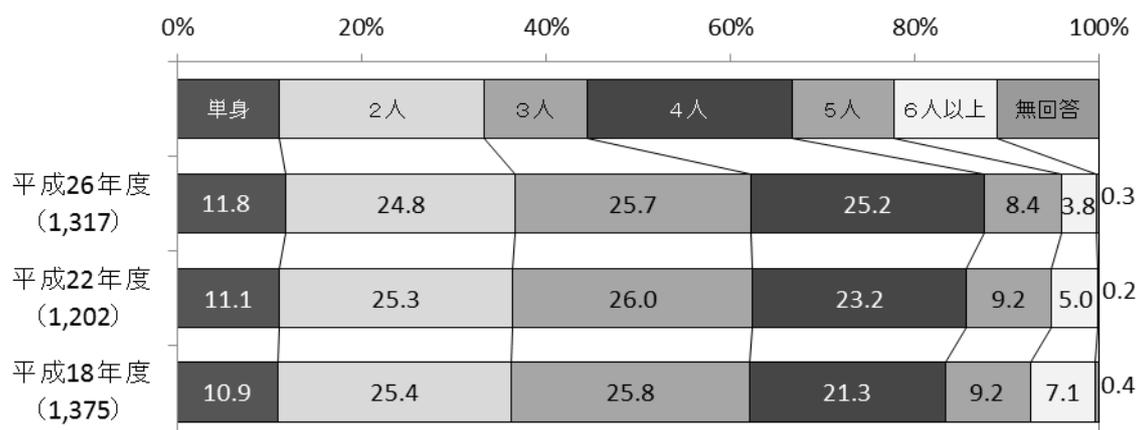
		持ち家(戸建て)	(持ち家)マンションなど	借家(戸建て)	ト・借家(民間マンション)	社宅・寮	公団・公営・公社住宅	その他	無回答
全体(1,317)		37.4	32.1	2.0	23.7	1.9	1.7	0.7	0.5
居住地区別	下戸田1地区(165)	44.8	19.4	2.4	28.5	1.8	1.2	1.8	0.0
	下戸田2地区(251)	28.7	53.0	0.8	11.6	0.0	5.6	0.4	0.0
	上戸田1地区(142)	35.9	28.9	0.7	31.7	0.7	2.1	0.0	0.0
	上戸田2地区(195)	28.7	41.0	1.5	26.7	1.5	0.0	0.5	0.0
	新曽地区(279)	32.3	32.6	1.8	28.0	3.2	0.4	1.1	0.7
	笹目地区(164)	53.7	14.6	4.3	22.0	0.6	1.2	0.6	3.0
	美女木地区(121)	51.2	18.2	3.3	20.7	6.6	0.0	0.0	0.0

(6) 家族の人数

回答者自身も含めた同居の家族の人数については、「2人」、「3人」及び「4人」がそれぞれ約25%となっています。

これまでの推移を見ると、平成22年度調査と比較して「4人」の家族が2ポイント高くなっています。

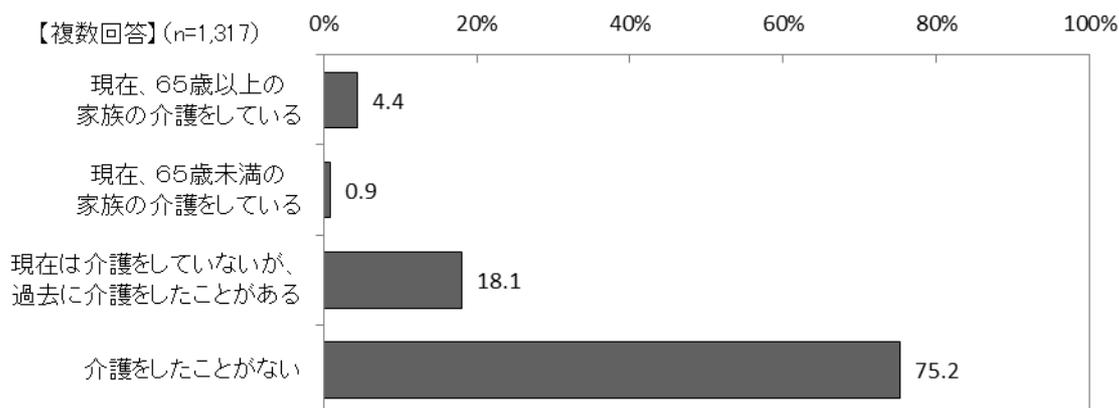
図表 9 家族の人数(全体)



(7) 家族の介護経験

家族の介護経験については、「介護をしたことがない」が75.2%と最も高く、次いで「現在は介護をしていないが、過去に介護をしたことがある」が18.1%、「現在、65歳以上の家族の介護をしている」は4.4%でした。

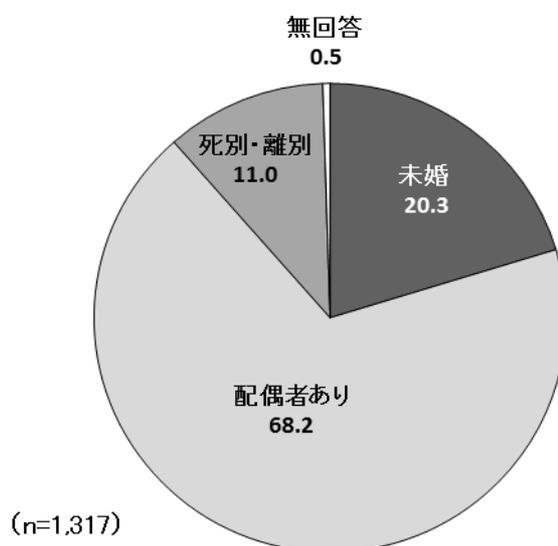
図表 10 家族の介護経験(全体)



(8) 結婚

結婚の状況については、「未婚」が 20.3%、「配偶者あり」が 68.2%、「死別・離別」が 11.0%でした。

図表 11 結婚(全体)

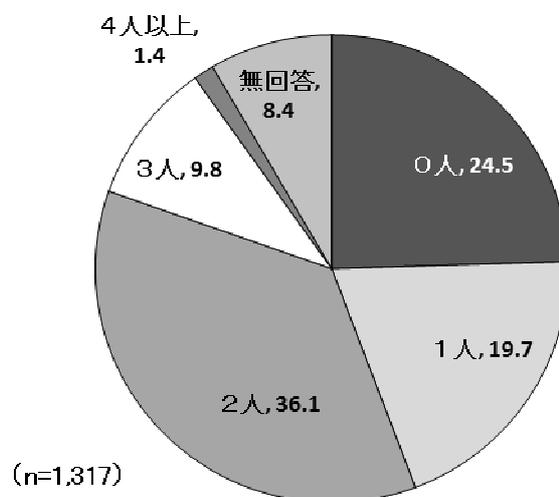


(9) 子どもの人数と子どもの年齢

子どもの人数は、「2人」が 36.1%と最も多く、次いで「0人」が 24.5%でした。

また、子どもの人数別の上の子の年齢及び下の子の年齢については、子どもが1人の場合を除き、上の子、下の子ともに、「30歳以上」が最も高い割合でした。さらに、子どもの数が1人の場合は、「0～5歳」が最も高い割合でした。

図表 12 子どもの人数(全体)



図表 13 子どもの人数と子どもの年齢

		上の子の年齢								下の子の年齢										
		0 5 5 歳	6 5 1 1 歳	1 2 5 1 4 歳	1 5 5 1 7 歳	1 8 5 2 1 歳	2 2 5 2 9 歳	3 0 歳 以上	非 該 当	無 回 答	0 5 5 歳	6 5 1 1 歳	1 2 5 1 4 歳	1 5 5 1 7 歳	1 8 5 2 1 歳	2 2 5 2 9 歳	3 0 歳 以上	非 該 当	無 回 答	
子 ど も の 人 数	0人(323)	/	/	/	/	/	/	/	100.0	/	/	/	/	/	/	/	/	100.0	/	
	1人(259)	32.4	10.0	6.9	6.9	10.0	7.3	22.8		3.5	/	/	/	/	/	/	/	/	100.0	/
	2人(476)	7.8	14.1	6.7	5.9	7.4	11.3	46.2		0.6	15.3	14.9	5.9	5.9	5.0	12.6	39.3		1.1	
	3人(129)	0.8	14.0	6.2	7.0	5.4	10.9	53.5		2.3	17.1	10.1	3.1	5.4	5.4	12.4	43.4		3.1	
	4人以上(193)	0.0	10.5	5.3	10.5	0.0	15.8	52.6		5.3	21.1	5.3	10.5	5.3	0.0	10.5	47.4		0.0	
	無回答(111)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	5.4		92.8	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	0.9	3.6		93.7	

(10) 仕事(雇用形態)

仕事については、「フルタイム正社員」が 29.8%と最も多く、次いで「パート・アルバイト」が 17.2%、「年金生活」が 14.6%、「無就業」が 8.7%となっています。「フルタイム正社員」から「家事従事者」までの合計 69.8%が就労中という結果でした。

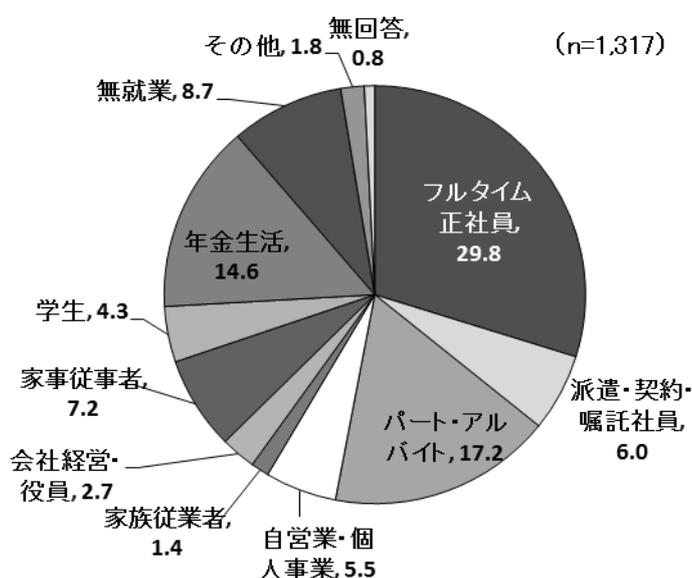
性別にみると、男性は「フルタイム正社員」が 46.1%と半数近くを占めるのに対し、女性は「パート・アルバイト」が 24.4%と最も高いのが特徴です。

年齢別でみると、20 歳代、30 歳代及び 50 歳代の「無就業」が約 10%と他の年代より高くなっています。

一方で、60 歳代では、「フルタイム正社員」から「家事従事者」までの合計が 64.4%と、約 3 人に 2 人が就業しており、70 歳以上では 25.0%と 4 人に 1 人が就業しています。

地区別にみると、笹目地区の「パート・アルバイト」が他地区と比べて突出して高いことが特徴です。

図表 14 仕事(全体)



図表 15 仕事(全体・性別・年齢別・居住地区別)

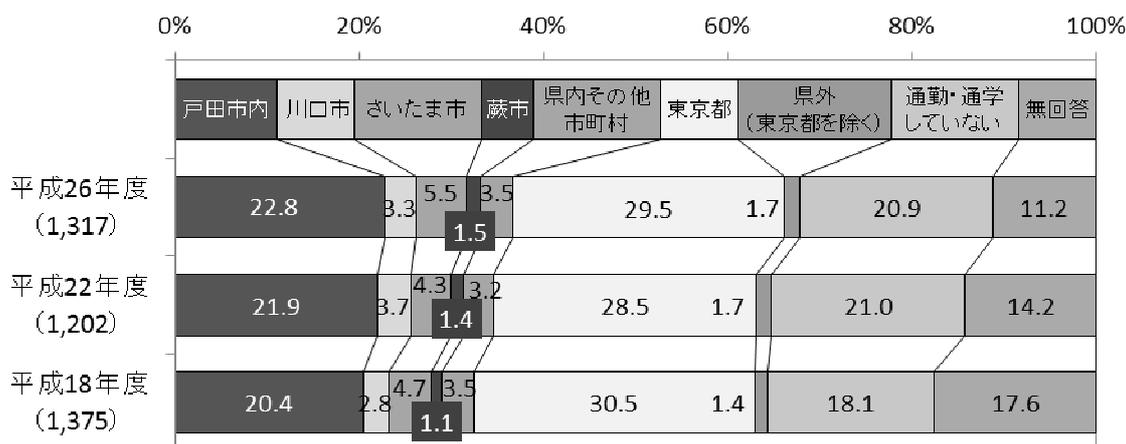
		フルタイム正社員	派遣社員・契約社員	アルバイト	個人事業主	家族従業者	会社経営・役員	家事従事者	学生	年金生活	無就業	その他	無回答
全体(1,317)		29.8	6.0	17.2	5.5	1.4	2.7	7.2	4.3	14.6	8.7	1.8	0.8
性別	男性(562)	46.1	6.4	7.5	9.6	0.5	5.0	0.2	3.9	11.9	6.2	2.3	0.4
	女性(755)	17.7	5.7	24.4	2.4	2.1	0.9	12.5	4.6	16.6	10.5	1.5	1.2
年齢別	16～19歳(32)	0.0	0.0	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	93.8	0.0	0.0	3.1	0.0
	20～29歳(129)	45.7	3.9	12.4	0.8	0.0	0.0	4.7	20.9	0.0	9.3	1.6	0.8
	30～39歳(262)	46.6	6.9	13.0	3.4	0.4	1.5	14.5	0.0	0.0	13.0	0.8	0.0
	40～49歳(278)	39.2	9.7	24.8	5.0	0.7	4.7	7.2	0.0	0.0	7.2	0.7	0.7
	50～59歳(192)	41.7	2.6	22.4	7.3	2.6	3.6	6.3	0.0	0.5	10.4	1.0	1.6
	60～69歳(202)	8.9	9.4	23.8	8.9	4.0	3.0	6.4	0.0	24.8	5.0	5.4	0.5
	70歳以上(222)	2.3	2.3	6.8	7.2	1.4	2.3	2.7	0.0	63.5	8.1	1.8	1.8
居住地区別	下戸田1地区(165)	27.3	6.1	17.6	5.5	0.0	1.2	3.6	4.2	21.2	9.1	3.6	0.6
	下戸田2地区(251)	33.5	5.6	17.5	6.4	1.6	2.0	6.4	3.6	12.7	9.6	0.4	0.8
	上戸田1地区(142)	35.2	7.7	12.0	4.9	2.1	0.0	7.7	1.4	16.9	9.2	2.1	0.7
	上戸田2地区(195)	29.2	7.7	16.4	4.6	1.0	3.6	10.3	6.2	12.8	6.7	1.0	0.5
	新曽地区(279)	33.3	5.4	16.5	5.0	1.1	2.5	9.0	6.5	10.4	8.6	1.1	0.7
	笹目地区(164)	20.1	4.3	24.4	8.5	1.8	3.7	3.7	2.4	20.7	7.3	2.4	0.6
	美女木地区(121)	25.6	5.8	14.9	2.5	3.3	6.6	9.1	4.1	10.7	10.7	4.1	2.5

(11) 通勤・通学地

通勤・通学している人の通勤・通学先としては、「東京都」が29.5%と最も多く、次いで「戸田市内」が22.8%となっており、隣接市（川口市、さいたま市、蕨市の計）は10.3%にとどまっています。

これまでの推移をみると、「戸田市内」が微増しています。

図表 16 通勤・通学地(全体)



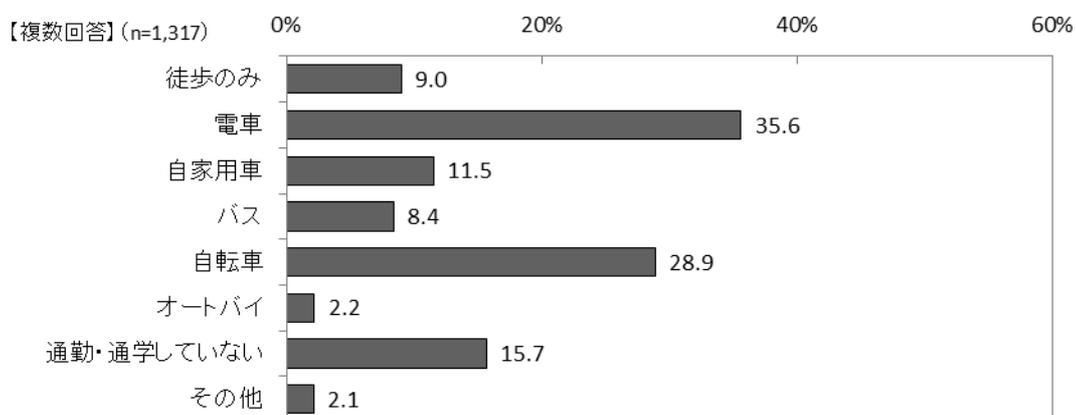
(12) 通勤・通学の交通手段

通勤・通学の交通手段では、「電車」が35.6%と最も高く、次いで「自転車」が28.9%でした。

居住地区別にみると、鉄道3駅がある上戸田1地区、上戸田2地区及び新曽地区の3地区に加えて下戸田2地区は、「電車」の割合が他地区より高くなっています。一方、笹目地区及び美女木地区は、「自家用車」の割合が他地区より高くなっています。

通勤・通学地別でみると、「戸田市内」は「自転車」(57.3%)に次いで「徒歩のみ」(24.7%)が高くなっています。「東京都」や「さいたま市」は「電車」の割合が高くなっています。また、「川口市」は、他の通勤・通学地と比べて、「自家用車」(33.3%)が高いことが特徴です。

図表 17 通勤・通学の交通手段(全体)



図表 18 通勤・通学の交通手段(全体・居住地区別・通勤・通学地別)

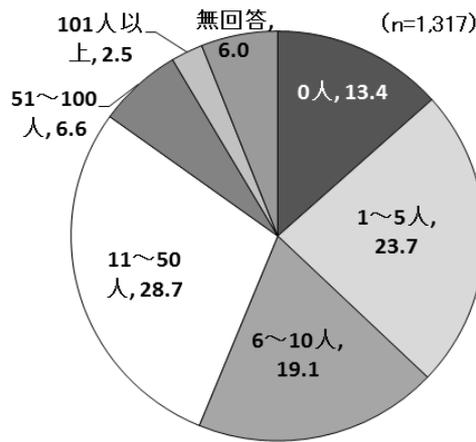
		徒歩のみ	電車	自家用車	バス	自転車	オートバイ	通勤・通学していない	その他
全体(1,317)		9.0	35.6	11.5	8.4	28.9	2.2	15.7	2.1
居住地区別	下戸田1地区(165)	12.1	33.9	9.1	14.5	36.4	0.6	15.2	2.4
	下戸田2地区(251)	6.8	37.1	12.4	9.2	31.5	2.0	13.9	2.0
	上戸田1地区(142)	10.6	42.3	9.2	3.5	23.9	1.4	16.2	0.7
	上戸田2地区(195)	5.6	47.7	7.2	5.6	16.4	2.1	14.9	3.6
	新曽地区(279)	8.2	39.1	11.5	6.8	30.5	2.5	13.6	1.4
	笹目地区(164)	9.8	20.1	15.2	10.4	34.8	3.7	22.0	2.4
	美女木地区(121)	14.0	20.7	17.4	9.1	27.3	3.3	17.4	1.7
通勤・通学地別	戸田市内(369)	24.7	4.7	18.7	7.7	57.3	2.7	3.7	3.7
	川口市(51)	4.5	11.4	38.6	15.9	38.6	4.5	0.0	2.3
	さいたま市(113)	5.6	59.7	27.8	20.8	37.5	4.2	0.0	1.4
	蕨市(25)	5.0	0.0	25.0	10.0	80.0	5.0	0.0	0.0
	県内その他の市町村(72)	8.7	67.4	26.1	19.6	23.9	6.5	0.0	4.3
	東京都(587)	6.7	90.0	8.5	11.1	30.8	2.6	0.3	1.0
	県外(東京都を除く)(30)	4.3	78.3	8.7	8.7	21.7	0.0	0.0	8.7
	通勤・通学していない(224)	2.2	1.1	1.8	2.2	2.9	0.4	69.5	1.5
	無回答(21)	0.7	3.4	0.7	2.0	2.7	0.7	2.7	1.4

(13) 友人・知人

戸田市に住んでいる友人・知人の数は、「11～50人」が最も多く28.7%で、次いで「1～5人」が23.7%でした。

年齢別でみると、60歳以上では、「1～5人」と「6～10人」の割合が高くなっています。また、40歳代では、「11～50人」、「50～100人」及び「101人以上」で他の地区よりも高くなっています。

図表 19 友人・知人(全体)



図表 20 友人・知人(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		0人	1~5人	6~10人	11~50人	51~100人	101人以上	無回答
全体(1,317)		13.4	23.7	19.1	28.7	6.6	2.5	6.0
性別	男性(562)	19.6	27.9	16.5	24.0	5.7	2.3	3.9
	女性(755)	8.7	20.5	21.1	32.2	7.3	2.6	7.5
年齢別	16~19歳(32)	6.3	3.1	12.5	25.0	18.8	28.1	6.3
	20~29歳(129)	19.4	20.2	16.3	29.5	7.8	2.3	4.7
	30~39歳(262)	17.9	26.7	17.9	28.2	5.3	2.3	1.5
	40~49歳(278)	14.7	16.9	18.0	35.6	7.6	2.9	4.3
	50~59歳(192)	15.1	29.2	17.7	27.1	4.7	2.1	4.2
	60~69歳(202)	9.9	26.7	23.8	24.8	6.4	0.5	7.9
	70歳以上(222)	5.4	26.1	21.6	25.7	6.3	0.9	14.0
居住地区別	下戸田1地区(165)	10.3	23.0	24.8	28.5	5.5	1.8	6.1
	下戸田2地区(251)	13.5	23.9	15.1	33.1	7.2	1.2	6.0
	上戸田1地区(142)	14.1	24.6	14.1	34.5	4.2	2.8	5.6
	上戸田2地区(195)	13.3	26.2	16.9	27.2	5.6	3.6	7.2
	新曽地区(279)	17.2	19.4	23.7	24.0	6.1	3.6	6.1
	笹目地区(164)	10.4	25.0	18.9	32.3	7.9	1.8	3.7
	美女木地区(121)	11.6	27.3	19.0	21.5	10.7	2.5	7.4

(14) 友人・知人との関係

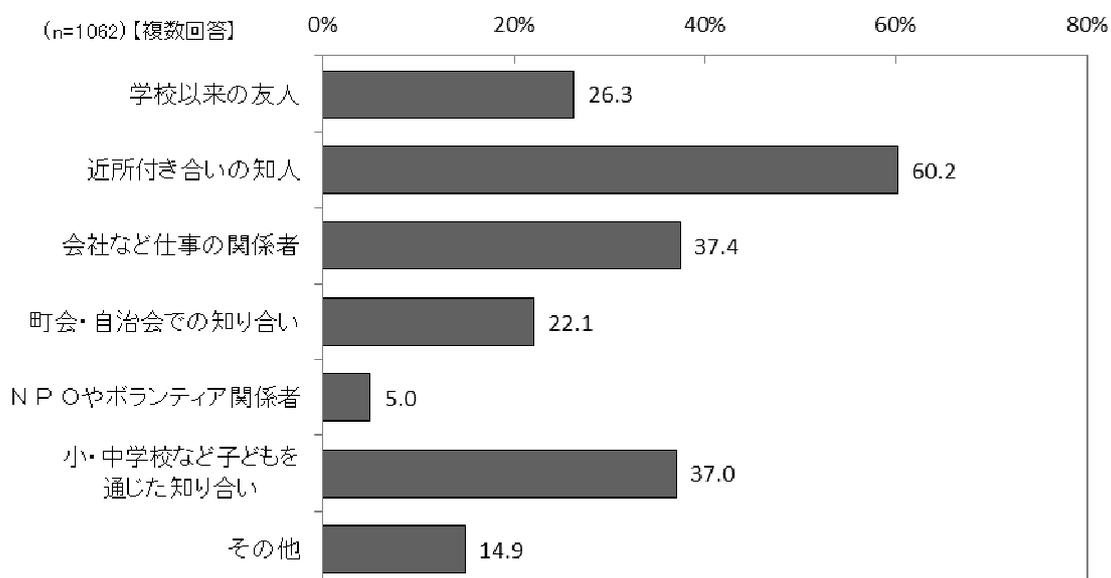
全標本 1,317 のうち、友人・知人の数が 1 人以上の標本は、1,062 でした。これを友人・知人との関係を考える際の集計母数 n とします。

友人・知人との関係は、「近所付き合い」が 60.2% で最も多く、次いで「仕事関係者」が 37.4%、「子どもを通じた知り合い」が 37.0% でした。一方、低い値となったのは、「NPO・ボランティア」の 5.0% でした。

性別にみると、特に女性の「小・中学校など子どもを通じた知り合い」が 47.8% と男性 21.2% に比べて大幅に高いことが特徴です。

年齢別にみると、「近所付き合いの知人」及び「町会・自治会での知り合い」において、年齢が上がるにつれて割合が高くなる傾向が見られます。

図表 21 友人・知人との関係(全体)



図表 22 友人・知人との関係(全体・性別・年齢別・居住地区別・友人・知人の数別)

【複数回答】		学校 以来の 友人	近所 付き 合いの 知人	会社 など 仕事 の 関係 者	合 町 会 ・ 自 治 会 で の 知 り	関 係 者 N P O や ボ ラ ン テ ィ ア	を 通 じ た 知 り 合 い の 子 ど も	そ の 他
全体(1,062)		26.3	60.2	37.4	22.1	5.0	37.0	14.9
性別	男性(430)	27.0	57.9	43.7	23.3	4.9	21.2	15.3
	女性(632)	25.8	61.7	33.1	21.4	5.1	47.8	14.6
年齢別	16～19歳(28)	96.4	50.0	3.6	7.1	3.6	10.7	3.6
	20～29歳(98)	67.3	38.8	29.6	6.1	3.1	14.3	10.2
	30～39歳(211)	23.2	50.7	37.0	7.6	2.4	47.9	13.3
	40～49歳(225)	24.9	61.3	45.3	21.3	4.9	60.9	11.6
	50～59歳(155)	24.5	66.5	40.6	24.5	3.9	39.4	14.8
	60～69歳(166)	12.0	67.5	42.2	27.1	6.6	27.1	20.5
	70歳以上(179)	12.8	70.9	30.2	44.7	8.9	17.9	20.1
居住地区別	下戸田1地区(138)	23.9	60.9	37.7	21.0	4.3	32.6	19.6
	下戸田2地区(202)	25.2	64.4	31.2	21.8	7.4	41.6	11.9
	上戸田1地区(114)	21.9	58.8	39.5	21.9	0.9	36.0	23.7
	上戸田2地区(155)	23.9	61.9	36.1	18.1	5.8	35.5	16.1
	新曽地区(214)	28.0	53.7	37.4	16.8	2.8	39.7	11.2
	笹目地区(141)	34.0	60.3	41.1	30.5	5.0	34.8	17.0
	美女木地区(98)	25.5	63.3	43.9	30.6	9.2	34.7	7.1
友人・知人の数別	1～5人(312)	23.9	60.9	37.7	21.0	4.3	32.6	19.6
	6～10人(252)	25.2	64.4	31.2	21.8	7.4	41.6	11.9
	11～50人(378)	21.9	58.8	39.5	21.9	0.9	36.0	23.7
	51～100人(87)	23.9	61.9	36.1	18.1	5.8	35.5	16.1
	101人以上(33)	28.0	53.7	37.4	16.8	2.8	39.7	11.2

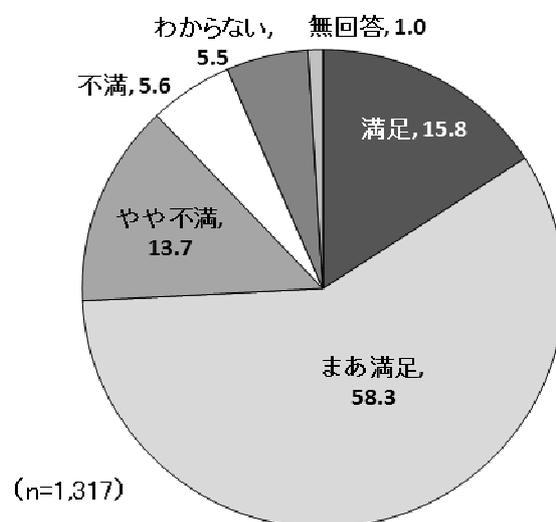
(15) 生活満足度

全般的な生活満足度については、「満足」及び「まあ満足」を合わせると74.1%であり、約4人に3人は満足しているという結果でした。また、「やや不満」は13.7%、「不満」は5.6%でした。

年齢別にみると、年齢が上がるほど満足度は低くなる傾向が見られますが、70歳以上では、「満足」が18.0%と高くなっています。50歳代は、「やや不満」「不満」ともに、どの年齢区分よりも高くなっています。

居住地区別では、上戸田2地区が唯一、「満足」及び「まあ満足」を合すると80%を超えています。一方、「不満」及び「やや不満」を合わせると、最も高いのは美女木地区の25.6%であり、次いで上戸田1地区の23.9%となっています。

図表 23 生活満足度(全体)



図表 24 生活満足度(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		満足	まあ満足	やや不満	不満	わからない	無回答
全体(1,317)		15.8	58.3	13.7	5.6	5.5	1.0
性別	男性(562)	14.8	54.4	15.8	6.6	7.1	1.2
	女性(755)	16.6	61.2	12.2	4.9	4.4	0.8
年齢別	16～19歳(32)	31.3	56.3	9.4	0.0	3.1	0.0
	20～29歳(129)	18.6	64.3	8.5	2.3	5.4	0.8
	30～39歳(262)	17.2	62.2	14.9	3.8	1.5	0.4
	40～49歳(278)	15.1	62.2	13.7	5.0	4.0	0.0
	50～59歳(192)	10.4	52.6	18.2	10.9	6.8	1.0
	60～69歳(202)	13.4	53.0	14.4	6.9	10.9	1.5
	70歳以上(222)	18.0	55.4	11.7	5.4	6.8	2.7
居住地区別	下戸田1地区(165)	20.0	50.3	10.3	10.3	8.5	0.6
	下戸田2地区(251)	12.4	64.1	13.5	4.0	4.4	1.6
	上戸田1地区(142)	16.9	52.1	16.2	7.7	4.9	2.1
	上戸田2地区(195)	20.5	60.5	12.8	2.6	3.6	0.0
	新曽地区(279)	15.4	59.9	12.2	6.1	6.5	0.0
	笹目地区(164)	11.0	62.2	17.1	1.8	6.1	1.8
	美女木地区(121)	15.7	52.1	16.5	9.1	5.0	1.7